



同風

機関紙命名 鵬雲齋大宗匠
題字 揮毫 納屋宗淡宗匠
発行所
茶道裏千家淡交会青年部
近畿第二ブロック
発行人
ブロック長
山本修史

ご挨拶

来期ブロック長予定者
中川雅照



令和五年より近畿第二ブロック長を務めさせていただき、ますます大阪西青年部の中川雅照と申します。

平素は大宗匠・お家元をはじめ、ご宗家・総本部の皆様方、各親支部先生・先輩方々には、ブロック諸活動に対し、ご指導ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

また、例年、近畿第二ブロックへの出向者を輩出いただいております各支部親先生方、各青年部の皆様方



青年部綱領

われわれ茶道を愛好する青年としての自覚により淡交会の諸活動に協力し、お茶を通じて良識ある近代人としての人間形成に努め、同志的結合によって結ばれた友情と情熱で正しい地域社会発展のために努めよう。

にもこの場をお借りしまして心より感謝申し上げます。

二〇二三〜二〇二四年度のテーマは、『和』をもって、新たな一歩を結ぼう』とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、価値観や生活様式、働き方など様々な事が新たなものになりました。

改めて茶道を見つめ直し、日本古来の『和』の精神性を持ちつつ、青年らしく、今までにない新たな取組みを皆様と共に行ってまいりたいと考えております。

これまで通りのご高配並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。



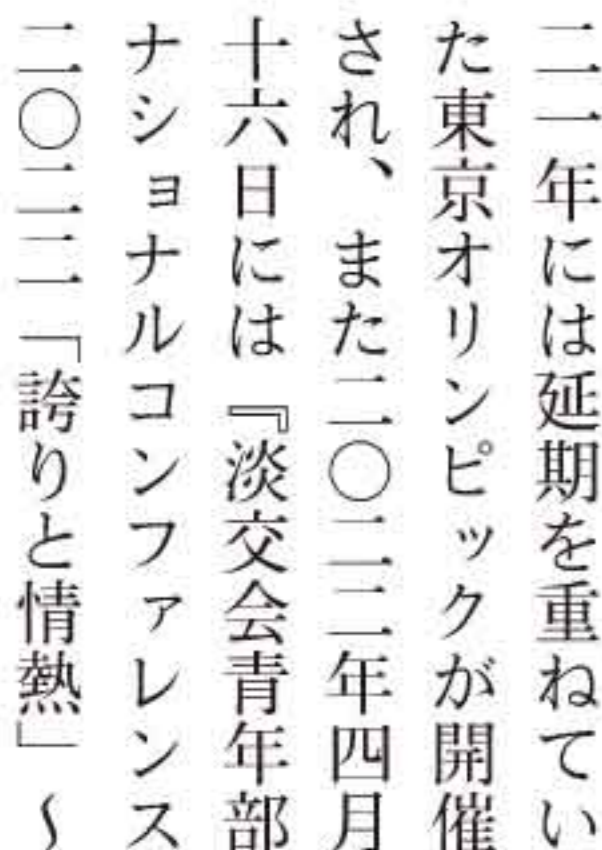
ご挨拶

ブロック長
山本修史



『和』と人と歴史のつながり』とテーマを掲げた一期二年の期間がもうじき終わろうとしています。

今期はまん延と縮小を繰り返すコロナに翻弄された二年でした。しかし、コロナによる人のつながりの分断に立ち向かうべく、二〇二一年には延期を重ねていた東京オリンピックが開催され、また二〇二二年四月十六日には『淡交会青年部ナショナルコンファレンス二〇二二』「誇りと情熱」



力を合わせれば乗り越えられる』が開催されました。

秋にはコロナも落ち着き、各青年部ではリアル茶会の開催が増えてきました。

この同風が発行される頃には、我々、近畿第二ブロックにおいても延期を重ねてきた第十回チャリティ茶会が開催されたことと思われ

今後はコロナが収束し本来の活動が出来ることを祈念するとともに、来期以降も御宗家の皆様、総本部の皆様方、地区、各親支部の皆様におかれましては、変わらぬご高配並びにご支援賜りますようお願い申し上げます。

お願い申し上げます。



ご挨拶

来期幹事長予定者
岸本迪子

この度、近畿第二ブロック幹事長を引き続き拝命いたしました、大阪北青年部の岸本迪子でございます。

このような大役を今回も仰せつかると思いません、中川次期ブロック長はじめ、諸先輩方・スタッフの皆様にお力添えをいただきながら私なりに精一杯二年間頑張って参る所存です。

より一層ブロックが、各青年部の調整機関として、また皆様の交流の場として青年部相互の理解が深まり楽しんでいただける機会の提供ができればと思います。何分、未熟な私ですので親先生方、諸先輩方のご指導賜りますようお願い申し上げます。

2023年度 行事予定

- 2月11日(土・祝) ブロック協議会
ブロック研修会
- 12月1日(金) 同風発行

ナショナルコンファレンス2022

令和四年四月十六日(土)・十七日(日)
国立京都国際会館/宗家周辺/オンライン開催

プレ行事

「by 青年部
for 青年部」

開催前からナショナルコンファレンス・プレ行事として全国の各ブロック・青年部毎に企画された干菓子づくり、陶芸の魅力、着物のほなしなど楽しい行事が多く開催されました。

近畿第二ブロックは、令和四年四月六日(水)に『呉服屋直伝/ご自身でできる着物メンテナンスと着用後のアフターあれこれ』とお茶会に着ていく大切な着物、それ汚れたらどうしますか!? 緊急な対処方法やその後のお直しの方法を教えます」と題して、大阪東青年部副部長で、染織わただ店主・和多田泰久さんに講師をお願いして、数々の貴重なお話をさせていただきました。



多数の参加者がオンラインで視聴しました。ブロックや青年部を超えた交流は本番前から始まっており、当日に向けての盛り上がりを感じました。



ナショナルコンファレンス2022 「誇りと情熱」

令和四年四月十六日(土)から、四月十七日(日)にかけて、国立京都国際会館などを会場に開催されました。

今回はオンラインとの併催であり、日本中から、現地参加者だけでなくオンラインでも交流が持たれました。

ナショナルコンファレンスは、二日間のプログラムで構成されており、開会式前の呈茶席は「白い光」と

いうテーマで各ブロックそれぞれがお道具を持ち寄り、華やかなお席が持たれました。

受付、呈茶、昼食の後、開会式が行われ、宗家三世代の同時参加の中、まず坐忘斎千宗室御家元より、引き続き、宮川寛隆実行委員長からのご挨拶がありました。

その後、鵬雲斎千宗室大 宗匠のご講話を拝聴した後、全国の各ブロックがブースを設営し、各々のブロックのご当地を紹介する「全国ブロック展」が開催されました。

近畿第二ブロックは、「青年茶人として情熱と友情を育む」と題し、熊野古道の壺装束試着体験や、パネルを利用しての記念写真コーナー、熊野神社の神様のひとつ、金剛童子の化身身と伝えられている椰の葉(なぎのは)の葉を用意しました。



十五時から御家元とNIGOさんとの対談がありました。その後は、スタイルを変えて若宗匠が青年部からの一問一答に答えて、御宗家三世代の皆様の思いやお気持ちについて話をされました。



続く閉会式では、行事を振り返るスライドの上映後に丹心斎千宗家若宗匠からご挨拶をいただき、中谷憲正副実行委員が謝辞を述べました。閉会式後は、京都会場とオンラインによる交流会がグループに分かれて行われ、お互いに他ブロック青年部の方々と交流を深めました。その交流会の最中に、御宗家の皆様が飛び入り参加され、直接交流ができました。

二日目は、現地参加者への茶会を御家元が平成茶室の聴風席、若宗匠が看月席に分かれて開催されました。どちらが欠けても空を羽ばたくことができない比翼を表し、共通して春秋棚でお点前を拝見することができ、どちらの席に入っても語り合えるご配慮がありました。



後日、オンラインでの体験もできるようになりました。リアルとリモートの同時開催となったため、二倍以上の打ち合わせや準備、作業量で大変なご苦労があった実行委員会の皆様、ブロック出向者の皆様方には感謝しかありません。このような機会を準備して頂いた大宗匠・お家元をはじめ、総本部やブロック関係者の皆様のお力のお蔭で成功で終えられたことを感謝し、お茶を通して、「集う」ことの大切さを実感できたイベントとなりました。

ブロック交流行事

令和四年九月二十三日(金・祝)、サンスクエア堺において、石川県にある谷口博山蒔絵工房から谷口博山先生にお越しいただき、ブロック交流事業「蒔絵体験」を開催いたしました。

工程は、大棗・中棗・干菓子盆の中からいずれかを選び、用意したデザイン画の裏側を白粉でなぞり、型を写し、輪郭を線描きして金粉を蒔き、線の内側を塗り金粉や色粉を蒔きます。修正や型を写す等の難しい工程は、先生方のお力をお借りし無事に完成。

皆さま趣向を凝らしたデザインで大変美しい仕上がりました。対面での開催が叶い先生方や皆さまと楽しいひと時を過ごせましたことに感謝申し上げます。



第十回チャリティティー茶会 「とどけ！祈りの風を」

令和四年十月三十日（日）
生國魂神社内 玉秀庵・参集殿

「青年部のみなさんへ」 池田 周弘

二〇一一年東日本大震災の年から始まった近畿第二ブロックチャリティティー茶会が三年振りに開催されました。



近畿第二ブロックと青年部OBに加えて第五回から続いている青年部全国委員会OBの皆さんの協力をいただき、ブロック内外三百名の来客をお迎えし、東日本大震災以降も度々発生する自然災害に被災された方々に思いを馳せて心を込めた一碗を差し上げました。

「とどけ！祈りの風を」をテーマにした第十回チャリティティー茶会を、生國魂神社内、玉秀庵と参集殿を舞台に開催いたしました。

令和元年九月十六日を最後にコロナ禍で開催が叶わずにいたチャリティティー茶会ですが、今回、三年ぶりに開催する運びとなりました。

秋田、仙台、石川、福井、奈良、姫路、岡山、高知から駆けつけてくれた全国委員会の後輩の皆さん、十二年間変わらず茶会を一緒にしてくれた近畿第二の仲間の皆さん、活動が制約される中で頑張ったブロック青年部の諸君、そして我々の主旨に賛同しご来会いただいた皆様に感謝申し上げます。

被災地支援の活動を地区、青年OB、ブロックが一体となり、茶道で学んだ他者を思う心の実践を続ける意義は計り知れません。

コロナで開催の出来なかった三年のブランクを乗り越え第十回のチャリティティー茶会をやり遂げた青年部諸君の事を誇りに思います。

この経験が皆さんのこれからの人生の糧になると確信しています。



「ご担当いただきました。コロナ禍ということもあり、感染対策として衛生面でも細心の注意を払い、濃茶は各服点でご提供させていただきました。

参集殿に設けられた待合では、これまでのチャリティティー茶会を振り返るスライドショーを放映しました。

菓子席では石川県小松市の行松旭松堂より行松宏展様にお越しいただき作り立ての主菓子を提供する事が叶いました。

薄茶席は近畿第二ブロック青年部が担当いたしました。

今回のチャリティティー茶会はコロナ禍にも拘らず、三〇〇名を超える大勢のお客様にお越しいただく事ができました事は感謝に堪えません。

日頃よりご尽力いただきありがとうございます近畿第二地区の先生方、遠方より遥々お越しいただきました青年部全国委員会OB有志の皆様や

行松様、青年部OB志の皆様、ブロック青年部の皆様に心より感謝申し上げます。



第十回チャリティティー茶会 「とどけ！祈りの風を」 会記

- 菓子席 対水筆 つるうめもとき
- 濃茶席 茶席 鵬雲斎大宗匠筆 松無古今色
- 花入 季のもの 九代長左衛門造
- 香合 截金彩色 願い糸 唯心造
- 風炉先 唐松紋縁 淡々斎好在判 松無堂製
- 風炉 常盤風炉 小 今日鑄込み有
- 釜 常盤釜 小 與兵衛造
- 蓋置 淡々斎箱書 淡々斎花押鑄込み有
- 水指 赤膚耳付 淡々斎在判箱書 蓋 一閑造
- 茶入 瀬戸耳付 銘 凌雲 坐忘斎御家元箱
- 茶碗 小牡丹唐草金襴 銘 松嶺
- 茶碗 坐忘斎御家元作 銘 松嶺
- 茶碗 黒 銘 清楽 鵬雲斎大宗匠箱
- 蓋置 竹一雙の内 鵬雲斎大宗匠在判
- 建水 唐銅半瓢 鵬雲斎大宗匠好箱
- 詰 吉祥の昔 鵬雲斎大宗匠好
- 菓子 実りの秋 吉川天宸洞
- 薄茶席 行松旭松堂製
- 床 茶席 坐忘斎御家元筆 貴和
- 花入 季のもの 秀斎造
- 花入 青磁掛 好斎造
- 香合 後 鵬雲斎大宗匠箱 好斎造
- 結界 桑縁腰枳 好斎造
- 鉄瓶 壺形 好斎造
- 瓶掛 黒紅鉢 崇白造
- 薄器 生國魂詩繪平泉 鵬雲斎大宗匠在判箱 博山造
- 茶杓 鵬雲斎大宗匠作 銘 夢を開こう
- 茶碗 繪唐津 坐忘斎御家元箱 五代 蔵六造
- 替 色繪 扇面之図 七代 道八造
- 建水 餌ふご 行松旭松堂製
- 干菓子 山土産 照葉
- 菓盆 松の木菓盆 奇跡の一本松以造多佳松ノ絵 功造
- 火入 小代焼

「お詰めは」「かんばやし」
坐忘斎宗匠御好
お濃茶 志原の誓
お薄茶 五雲の白
鵬雲斎大宗匠御好
お濃茶 爽明の蒼
お薄茶 好方白

創業四百五拾年
お抹茶の店

上林春本店
京都府宇治市宇治
TEL 0120(23)8886
FAX 0120(23)5434

販売店 直営小売店 宇治通り上林記念館横
京都 高島屋 地下 銘茶売場
JR京都伊勢丹 地下 一階 銘茶売場
東京 新宿 伊勢丹 本館 銘茶売場
埼玉 浦和 伊勢丹 本館 銘茶売場
石川 金沢 伊勢丹 本館 銘茶売場

■カタログ進呈■地方発送承ります。
<https://www.shunsho.co.jp/>





題字は鵬雲斎大宗匠筆
発行所
茶道裏千家淡交会
大阪四青年部連合会
発行人
会長 伊藤 豊

ご挨拶

会長 伊藤 豊



連合会会長の任期を無事に全うさせていただきました。これらも一重に各支部幹事長先生をはじめと親先生方、連合会に携わっていただいた諸先輩方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

茶道教養講座では、毎回素晴らしい先生をお迎えし、内容も聴講者様よりご好評を頂き、私自身も大変勉強になりました。また、コロナ対策としてオンライン導入により例年ない忙しさでしたが、出向者の皆様方のお力添えにより、苦境を乗り越えることができました。本当に有難うございました。

来期は税所新会長と出向

ご挨拶

次期会長 税所 貴一



者の皆様が力を合せ、大阪四青年部連合会がますます発展されることを祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。

この度、伊藤会長の後任として大阪四青年部連合会会長を拝命いたしました。税所貴一でございます。

まずは、大阪四青年部をはじめとする役員の皆様には、多数の出向者を大阪四青年部連合会に輩出して頂き心より感謝申し上げます。私はいつものお稽古で学ぶ茶道とは違い、歴史や文化、そして茶道を支える様々な教養を養うことの出来る茶道教養講座の意義はとて、も大きいと感じております。約三年間のコロナ禍で、私

教養委員会

Table with 3 columns: Role, Name, Youth Dept. Lists members like 角江 昭彦, 寺井 弘子, etc.

令和5~6年度(2023~2024)大阪四青年部連合会役員名簿

Table with 3 columns: Role, Name, Youth Dept. Lists roles like 顧問, 相談役, 会長, etc.

たちの生活や価値観は大きく変化いたしました。青年部の活動も同じく、新しい形での取り組み方をしていることも増えました。だからこそ、茶道の歴史や文化や茶道に関わる様々な教養を学ぶことが大切になると思っております。

天神祭 献茶船

本年は規模を縮小しての陸渡御等の神事は催行されましたが、船渡御は三年続けて中止となりました。御鳳輦への献茶ご奉仕の再開を待ち遠しく思います。

令和五年担当 大阪四青年部

令和四年度 茶道教養講座

本年はお馴染みの大阪市立住まい情報センターを会場に講演会を再開。スタッフにとっても二年ぶりの会場運営でしたが、コロナ感染対策に配慮をしながら協

各支部親先生、諸先輩方々におかれましては、これまでと同様にご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

力してつとめました。講師の先生、熱心な聴講者をお迎えする喜びを感じました。また、今年はスタッフ撮影による映像を用いて、オンライン配信併用での講座運営に取り組みました。

大阪四青年部連合会 ホームページ QR code and text about the latest information.

笠井敏光先生 3月10日 「大阪天満宮と天神祭」

我々にとってご縁の深い天神祭について改めて学ぶ機会となりました。先生の楽しい語り口調に引き込まれ、最後は大阪締めで会場全体が一体となりました。

茶道具商 西田龍善堂

〒542-0085 大阪市中央区心斎橋筋2-2-22 TEL 090-4032-1077

茶舗 吉川天宸洞 鵬雲斎大宗匠御好 濃茶 吉祥の昔 薄茶 松吟の白

〒541-0062 大阪市中央区上本町西1-14-1 TEL (06) 676-2142

「茶掛けの書を楽しむ」
「沢庵宗彭の手紙」

愛知東邦大学客員教授
増田 孝先生



2月9日

手紙の形式や消息の表具の基本、また草書文字の部首のくずし方や筆順、よく使われる言葉を覚えると、消息を解読する助けになるというお話がありました。沢庵和尚の書は相手に読み易い字を用い、内容も氣遣いに満ちたもの。書には人柄や人間性が滲み出るので、虚像ではない真の人間像を知る為には本物を読むことが大切、とのお話に感銘を受けました。

「Do You Know 能？」

(公財)山本能楽堂代表理事
観世流 能楽師
山本 章弘先生

能の歴史や鑑賞の手引きとなるお話など、ご自身のエピソードや冗談を交えての楽しいご講演に、能楽というと少し難しく敷居が高い印象も吹き飛びました。

「利休百首」

今日庵業躰
松井 宗豊先生

和歌の形式にお茶の教え

がどのように詰まっているのか、内容と構成の視点からお話がありました。また、スタッフから募集した十五首について、一首ずつ丁寧に先生のお考えも併せて解説していただきました。「解釈については、みなさん自身が稽古を進めていく中で各々が考えを深めていただけたらいいのではなかろうか」と締めくくられました。



7月29日

謡曲「高砂」の一節を生徒の後に続いて発声する口伝の体験をさせていただきました。また能面を間近で拝見。能も茶道も実体験することが理解する近道、喜びになるというお話を実感いたしました。

謡曲「高砂」の一節を生徒の後に続いて発声する口伝の体験をさせていただきました。また能面を間近で拝見。能も茶道も実体験することが理解する近道、喜びになるというお話を実感いたしました。



11月2日

令和5年度(2023年)茶道教養講座予定表

回	月日	演題	講師
539	2月	作家 紫式部と源氏物語の魅力	園田学園女子大学 名誉教授 福嶋 昭治 先生
540	3月	落語でいっぶく	落語家 桂 吉坊 先生
541	4月	京の仕出し文化	三友居 山本 勝 先生
542	5月	和菓子の歴史	株式会社虎屋 虎屋文庫 主席研究員 中山 圭子 先生
543	6月	未定	今日庵 業躰 先生
544	7月	有職故実と木具師の仕事	木具師 橋村 萬象 先生
545	9月	特別展覧	藤田美術館
546	10月	表具について	表具 静好堂 中島
547	11月	利休百回忌の頃の茶の湯	裏千家学園講師 谷端 昭夫 先生

(注) 第545回 特別展覧は別途会費が必要です。(申込は年間会員様限定)

要項
日時 講演日は開催月の一か月前までに決定します。午後7時より8時30分迄の予定。

会場 大阪市内の公共施設

会費 年会費 大阪四青年部会員 4,000円 一般会員 6,000円

臨時聴講(1回につき)大阪四青年部会員 1,000円 一般会員 2,000円

※講師・講演内容等により、「会場開催」のみとなる場合もありますのでご了承ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催日時・内容の変更または中止する場合があります。

茶室「黄梅庵・仲庵」見学と堺市博物館

大阪電気通信大学 工学部建築学科教授
矢ヶ崎 善太郎 先生

真夏のような日差しの中、大仙公園内の堺市博物館にて、午前・午後各二グループに分かれて、三年ぶりの特別展覧を開催しました。「黄梅庵」は今井宗及・松永耳庵ゆかり、「仲庵」は数寄屋建築の名匠仰木魯堂が建てた三畳台目を含む二階建て。堺出身の立花大亀老師や所縁の方々のご尽力により堺の地にあります。移築できるのが日本建築の特徴であり、茶室移転の歴史や背景、また小さな茶室にある工夫や光の演出等、小間に座って矢ヶ崎先生の解説をお聞きし、建築の視点から沢山のお茶の楽しみを感じることができました。博物館では、考古学の観点から「中世の堺における茶の湯」を中心に、学芸員の方の解説付きで展覧しました。仲庵の立礼席では利休古印の干菓子と一服を楽しませていただきました。



9月11日



お茶十菱
茶道具

<https://www.rakuten.ne.jp/gold/jubishi/>

〒578-0983 東大阪市吉田下島15番27号
TEL 072-966-2119 FAX 072-966-9808

梅園松籟居
楽茶碗
芦屋釜

〒569-0085 高槻市南松原町五十一
電話 〇三六七五〇九四一
FAX 〇三六七二九六一八



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所
淡交会 大阪東支部
大阪東青年部
発行人
部長 中本 慎一郎

ご挨拶

部長 中本 慎一郎



任を仰せつかってから常に翻弄され続けたコロナ禍も、収束とはいかぬまでもようやく少しずつ以前の様な人の動きを取り戻し始めました。そして長いようであつた、我が「癒(いやし)」の二年間も終わろうとしています。果たして自ら定めたそのテーマに恥じぬ活動を全うすることができたのかどうかは疑問の余地もあろうかと思いますが、この異常な事態の中で青年部活動によるクラスターや重症者などを出さなかったことにひとまず安堵しております。次年度以降こそは皆様の活動が制限されることなく、存分に茶道に邁進できますことを心より祈念いたします。ありがとうございました。

ご挨拶

次期部長 竹田 哲之助



平素より大阪東青年部の活動へご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。来期、大阪東青年部の部長を仰せつかりました竹田哲之助と申します。国内外において不安定な社会情勢が続く昨今、平和や幸福について改めて考えさせられる機会が多いように感じております。何事にもとらわれない「素直な心」を大切に、まずは自分の身近な方々の心を豊かにできるような青年部活動をめざし、日々精進してまいります。最後に皆様のご健勝とご自愛を心からお祈りすると共に、これからも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

全体会議

三月六日(日)に大阪東青年部「全体会議」がオンラインにて開催されました。各参加者が自己紹介、青年部でやってみたいこと等を発表するのをお聞きし、本年度も茶道に研鑽していきたく思いました。(谷口 杏奈)



若葉茶会

四月二十四日(日)に生國魂神社・玉秀庵にて若葉茶会を開催いたしました。昨年は準備を進めていたにもかかわらず、緊急事態宣言期間と重なり開催を断念したこと、一年越しの開催でした。感染予防のため、お茶碗の清め方、お菓子の出し方などが通常とは異なり、戸惑うこともありましたが、当日は日頃お世話になっている諸先生および諸先輩の



方々を精一杯おもてなしさせていただきました。まだ新型コロナウイルス感染症の不安のある中、お越しいただいた皆様に感謝いたします。(岩田 歩)



委員会行事

交趾焼絵付体験

九月四日(日)に委員会行事『十人十色 多彩を心豊かに楽しむ てならひ交趾体験』が開催されました。本行事は久しぶりの対面の開催ということもあり、皆さんワクワクした心持ちで参加されたと思います。



京都清水焼団地の翠嵐工房にて中村正史先生およびスタッフの方々のご指導のもと、銘々皿に絵付体験、講義や工房見学をさせていただきました。交趾焼特有の技法を用い、繊細な筆運びから大胆で鮮やかな作品が出来上がる様は圧巻でした。普段使わせていただいているお道具の成り立ちを具に拝見し、限られた時間の中ででしたが多くのことを学び、楽しむ事ができました。コロナ禍でまだまだ油断出来ない日が続く、思うように活動することが出来ずにもどかしい思いをしていた中、とてもいい機会となりました。(北野 敦子)



その他の行事

十二月四日(日)
青年部総会





題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所
淡交会 大阪西支部
大阪西青年部
発行人
部長 中川 雅照

ご挨拶

部長 中川 雅照



ご挨拶

次期部長 戎 健太郎



この二年間、木村幹事長をはじめとする親支部の先生方、先輩方の御指導を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。そして、新型コロナウイルス感染症の影響で、手探りの中の運営となりましたが、大阪西青年部の皆様と共に、歴史を大切にしながらも、新たな一歩を踏み出し、リモート例会や涼月茶会、国際交流茶会、卒業茶会を開催できたことを誇りに思います。来期も多くの課題に対して、真正面から取り組むことを祈念すると共に、変わらぬ皆様からの御支援・御協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

来期大阪西青年部部長の役をお預かりします戎健太郎でございます。新型コロナウイルス感染症拡大から二年半が経ち、直接的な影響はようやく落ち着きました。ですが、マスクやワクチンに代表される分断された価値観、オンラインによって広がった希薄になった人間関係など、潜在的な問題が一気に顕在化しております。茶道を通じて改めて「和」の精神を学び、想いを伝えていく事で、人と人とのつながりを内外へ広めていきます。末筆ではございますが、木村幹事長先生をはじめとする親支部先生方、先輩方のご指導に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が再び拡大し、『新春茶会CHA・チャ・茶』を中止せざるを得ない状況となり、昨年同様に急遽Zoomを用いたリモートで開催致しました。部長挨拶から始まり、淡交会・青年部の成り立ちと組織説明、令和四年度の役員紹介・行事予定、令和三年度の決算報告を行いました。新入会員の方も参加して下さいましたので各委員会の活動内容の紹介、教養講座の説明を行いました。ほんの一時でしたが、会員同士で一緒に過ごすことができるありがたさを感じる事ができました。

令和三年・四年度テーマ

「和」をもって、新たな一歩をともに!

～まずは身近な人へ想いを伝えよう～

第二回例会

第一回例会に引き続き、Zoomを用いたリモートで開催致しました。部長挨拶から始まり、七月に開催される『涼月茶会』の説明がされ、「第五十五回裏千家青年研修会」と「淡交会青年部ナショナルコンファレンス2022」の参加者より報告をしていただきました。その後、参加者が自筆した会記で、お菓子・お茶碗などを紹介し、事前に郵送した一保堂の薄茶で自服しました。人とのつながりが分断される中、参加者が全員が同じ薄茶を頂くことができ、一体感を高めることができました。また、各自で地元の銘菓やお茶碗、菓子器を準備し、会記を作ることで、茶会開催に向けての勉強にもなったと思います。



涼月茶会

新型コロナウイルス感染症が蔓延して以来、約二年半ぶりにお茶会を開催しました。薄茶二服の一席でしたが、久々の茶会開催の上、感染防止策としてお席を時間制にし、席中の間隔を十分にとるなど、初めての試みがありました。さまざま不安がある中、会員一人一人が協力し合う事で、お客様に楽しんで頂ける事ができました。『涼月』の通り、酷暑の中、少しでも涼しさを感じていただけるように席札を「団扇」にしたり、お菓子の「花火」は黒ではなく敢えて白にし、更に水の大阪らしく「清流」と「沢瀉」にするなど、こだわりました。待合では、新型コロナウイルス感染症の収束を願い疫病封じの『アマビエ』の絵馬にお客様にも願いを書いて頂き飾りました。このような状況下にも関わらず、快く会場をお貸しくださいました坐摩神社さまのご協力の下、無事盛会に終了する事ができました。



祝ご卒業

- 内田 明子様
- 山東 幸恵様
- 中西 理恵様
- 八木 優子様
- 米原 千津子様

ご尽力いただき誠にありがとうございました。



令和年四度

行事報告

二月十三日

第一回例会

リモート

五月十五日

第二回例会

リモート

七月十七日

涼月茶会

坐摩神社

十月十六日

国際交流茶会

国際交流センター

十二月十八日

総会

国際交流センター



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪南支部
大阪南青年部

大阪府北区中崎西2-5-9 プレミスト梅田ノース409
大阪南青年部

ご挨拶

部長

橋本 充雄



今期も間もなく大阪南青年部部長の任期を無事終えようとしております。

昨年より「挑戦」をテーマとして活動いたしました。

二年目の本年はコロナ禍の中でしたが、南青年部のメンバーが一丸団結し、過去に捉われることなく創意工夫とチャレンジ精神をもって、テーマに則った事業を計画および実施できたことに安堵と感謝を感じております。

大寄せ茶会では甲冑の衣装をご準備していただきました。また、会員交流では実際に茶道具を作成するなど貴重な経験をさせていただきました。

最後になりますが、南支部の諸先生方、先輩方々におかれましては、次期部長ならび南青年部に対しても、これまでと同様、ご理解ご支援のほどお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。

ご挨拶

次期部長予定者

森西 聖



この度、橋本部長より引き続き、令和五年度 大阪南青年部の部長を拝命いたしました森西聖と申します。

令和五年度は、「コミュニケーション」をテーマに活動を展開していきたいと考えています。

コロナ禍の影響で茶会や会合の開催が中止となって

いきましたが、昨年には三年ぶりの大寄せ茶会を開催することができました。大きな障害を乗り越えていくには一人の力ではどうしようもありません。互いに協力してこそ前へ進むことができますと感じた年でもありました。

来年度は、「コミュニケーション」する場を大切にしながら和の精神を学んでいく年にしていきたいと考えています。

それぞれのおける環境や考え方をお互いに受け止め合い、自らの成長へと変え、堅実に和をひろげ、次代へ繋げてまいります。

皆様におかれましては、来年度におきましても、より一層のご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

祝ご卒業

- 太城 優子様
- 杉本 光教様
- 新免 有紀様
- 田中 成枝様
- 森弘 紀美子様

おめでとうございます

第一回全体会議と茶道具勉強会

1月13日(木)

於：がんこ和食難波本店

一月十三日(木) がんこ和食難波本店にて、大阪南支部育成委員の大平宗誠先生を講師にお招きして、第一回全体会議と茶道具勉強会を開催しました。

茶会準備の手順や道具の種類、扱い方などを学び、知識を習得することができました。

心構えや知識・経験、事前の準備がとても重要だと改めて実感しました。

実践では、道具箱の紐結びをご指導いただき、結び方を習得できました。

今勉強会で学んだことを今後の茶会で活かしていきたいです。大変有意義な時間となりました。

(藤原加那子)



大寄せ茶会「端午」

4月24日(日)

於：生國魂神社 参集殿

四月二十四日(日) 生國魂神社にて三年ぶりとなる大寄せ茶会を開催しました。参集殿において立礼席のみとし、端午の節句をテーマとして道具組や趣向を考えました。

橋本部長は武者姿の、会員は足軽の扮装をしてお客様からの好評を得ました。

また、この三年間、青年部の事業で制作してきた大阪茶碗や一閑張りの干菓子器がやっと日の目を見ることとなりました。

いつもの行事をいつものように開催できる有り難みを感じる機会となりました。

(本山昇平)



第二回全体会議と会員交流事業 茶筌糸掛け体験

8月7日(日)

於：和北堂 谷村丹後

八月七日(日) 奈良高山和北堂にて、谷村丹後先生のご指導のもと茶筌紐掛け体験に参加いたしました。

先生のお話を聞き驚いたことは日本で唯一、茶筌を手作りしているのがこの高山町のみであり、高山町でも十八軒しか工房が残っていないということでした。

丹後先生が竹の素材から種類、特性、竹を割って細かく削っていく製作工程、茶筌が出来上がるまでを丁寧に教えて頂き、その技術に驚愕し、室町時代から現代まで続く茶筌作りの繊細な工程に感動しました。

五百年もの歴史と技術の詰まった茶筌で、美味しいお茶を立てさせていただいているのだと、心に留め置き茶道に精進いたします。

(木下寿江)





題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所
淡交会 大阪北支部
大阪北青年部
大阪府東大阪市高井田西 1-12-5-301
横川 正義 方

ご挨拶

令和5年度部長
吉田 直人



平素より我々青年部の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。

来期大阪北青年部の部長を拝命させていただきます。吉田直人と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。大阪北青年部を支えてこられた親先生、諸先輩、関係各位に感謝し、活動をさせていただきます。と思っています。

「人のつながり」

とさせていただきます。まずは「人と人のつながり」を大切に組織内のつながりを構築していく組織運営に心がけ、行事や事業の中で部員も皆様のつながり



茶碗作り体験

お茶を美味しくいただく為に欠かせない「茶碗」。その中でも今回、京都・吉村楽入先生のもとで楽茶碗づくり研修に参加させて頂きました。

親先生・諸先輩の皆様は、これまでとかわらぬご指導ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

ご挨拶

卒業会員

まず、楽茶碗でお茶をいただくながら、これからつくる茶碗の特徴等について伺いました。緊張で硬い表情のメンバーとは対照的に、気さくで柔和な先生の表情がとても印象的でした。

続いて、カンナで外側や口元、高台を仕上げている工程では皆、はじめは恐る恐る削っていました。慣れてくると正面の見栄えや回して飲むときのホールディング感に気遣いながら、大胆にオリジナリティを加えて自分の作品として思い思いのお茶碗に仕上げることが出来ました。変化のある見た目の面白さと使いやすさのバランスについて作り手の込めるおもてなしの心づかいを直に伺いながら、自ら茶碗削りをする事で、たくさんのお話を学んだ。という間の2時間でした。

新たな視点を得る貴重な経験をさせて頂き、これから色々なお茶碗に巡り合うのがとても愉しみになりました。

松井 昭博

ご卒業

- 出口 憲作さん
 - 赤井 真穂さん
 - 山地 真理子さん
 - 山本 裕子さん
- お世話になりました
ありがとうございました

長いようであっという間に過ぎてしまった青年部活動も卒業を迎えさせてさせて頂くことになり改めてお支えいただいた皆様に感謝申し上げます。

今から十五年ほど前、まだ大阪北青年部ではなく天神青年部のころ、当時部長をされておられた青山さんから誘いをいただきました。左も分からない状態で入会をさせていただきましたが、そんな私を温かく迎え入れていただきました皆様のことと今でも昨日のことのように思い出します。

子供茶道教室の委員長をさせていただいたときは多くの子供たちにお茶道の楽しさを伝え笑顔を見る事ができ共に設営に当たった委員会メンバーの皆様と奉仕・修練・友情を育めたと思います。

青年部活動の中で本当に色々経験させていただきましたが、間違いなく自身の成長につながったと感じております。

今、思えばせっかくながら青年部に入会させてもらったのだからもっともっと活動をしてあげれば良かったと反省

しております。

親先生各位、先輩諸兄の皆様、そして共に過ごさせて頂きました青年部の皆様本当にお世話になりました。有難う御座いました。

出口 憲作

青年部に入ってすぐ海外事業、交流研修会、お茶会、全国大会と様々な行事に参加し、貴重な経験をさせて頂きました。所属ブロック青年部のみならず全国の茶道を嗜む若い方々と交流の素晴らしさを再認識するきっかけとなりました。青年部卒業後も私なりに茶道を学びつつ皆様と関わっていきたくと思っております。

最後になりましたが、青年部活動の為に尽力下さった親先生方、諸先輩方、青年部の皆様により感謝申し上げますと共に、益々のご活躍をお祈り致します。

赤井 真穂

秋の茶会



令和5年度行事予定

- 6月中旬 【会員手作り研修会】
- 9月上旬 【奉仕茶会】
- 9月23日 【秋の茶会】
(生國魂神社 玉秀庵)
- 11月中旬 【親子交流会】
- 12月中旬 【定時総会】

青泉

題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 堺支部
堺青年部

発行人
部長 中野 真哉

ご挨拶

部長 宮谷 万貴



模索とチャレンジの二年でした。大きな戸惑いの中、会員の皆さんがそれぞれ自分ができることを協力し合い、活動を止めることなく続けられたことは本当に有難く心強いことでした。オンライン行事を重ね、今年 は利品の杜でようやく新歓茶会ができ、お茶会を再開できたことの喜びと有り難さを噛みしめるとともに、私たちがなにより「出会い・繋がり」ができたのではと存じます。

ご挨拶

新部長 中野 真哉



令和五年度より堺青年部部長を務めます中野真哉と申します。

私は令和二年より堺青年部とのご縁を頂戴しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響下のため対面的な事業をほとんど経験しておりません。直近は宮谷部長のリーダーシップのもと、オンラインでの交流事業や体験事業に副部長として微力ながら努めさせていただきました。茶の湯の文化は古来より時の流れに合わせて変化を遂げてきた大きな潮流があり、私たちはそれを踏襲する必要があります。次年度はコロナ禍の終息を見据え堺青年部会員一丸となり、英知を結集し、手法を駆使して事業を実施し、

来る六十周年に拍車をかけていく所存です。皆様には何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

二月十三日(日) 表具師・オンラインセミナー ZOOM

広島にある富岡泰雅堂の表具師 富岡真典先生よりオンラインにてご講義頂きました。掛軸の歴史、仕立ての種類、拝見方法など一から丁寧に教えていただきました。

掛軸は真行草により異なりますが本紙と共に約十種の部材で構成され、表装されることで「掛軸」となり、例えば軸先の場合は木材や塗物など素材の種類があり、形状にも頭切や面取などの種類があり、全てが調和していることが大切だと知りました。今回掛軸の奥深さを知り、今後お稽古やお茶会などで拝見する際は学んだことを活かしていきたいと思えます。



五月二十七日(金) JCI ASPAC 2022 堺高石大会 於…ホテルアコーラ大阪堺

JCI ASPAC 2022 堺高石大会にて親先生と共にお呈茶席を設けて、参加された方々をおもてなし致しました。

皆様、大変喜んでくださり、お茶をご存じない方々に改めてお茶を通じて日本文化の良さを体験していただく契機になったのではないかと感じております。久方ぶりに青年部の皆様や親先生と会う機会がありました。また、改めて立ち居振る舞いやお茶を出すタイミングの難しさを痛感致しました。機会を与えて頂いたJCIの皆様へ感謝申し上げます。



九月二十四日(土) 新入歓迎茶会 於…さかい利晶の杜

コロナ禍の為、ネット越しの交流はありましたが、実際に会員の方々に対面し、接することでより堺青年部の一員となったことを強く実感しました。

実際に点前を披露していただいたことや、自分の教室とは違う状況でのお手伝いは、普段とは違う学びが得られました。非常に楽しく、新たな気づきを得られる新歓茶会でした。また、ご多忙の中、新入歓迎茶会を企画して下さいましたことに、この場をお借りして感謝申し上げます。



十一月六日(日) 京都国立博物館 鑑賞 於…京都国立博物館

秋晴れの中、「京に生きる文化 茶の湯」を鑑賞してきました。国宝、重文がふんだんに展示された贅沢な内容で貴重な学びの機会となりました。また、他の部員さん達との親交も深め、有意義な一日となりました。

文政元年創業 茶と茶道具の店

松倉茶舗

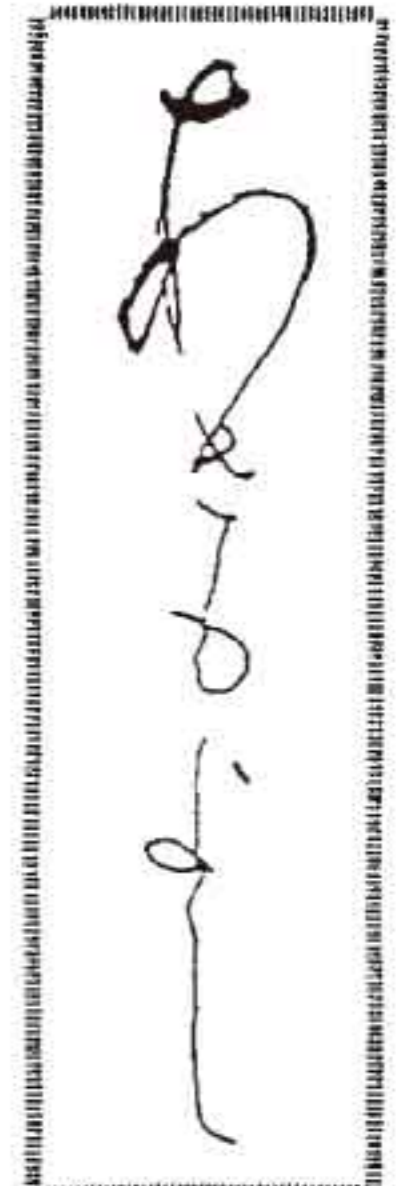
本店
〒590-0946 堺市堺区熊野町東1丁2番22号
Tel. 072(238)6188 Fax. 072(222)2728
E-mail: chabowz0313@gmail.com



茶道具・華道具・美術工芸・記念品

株式会社 小森商店

直販部：〒590-0946 堺市堺区熊野町東3丁2-26
TEL.(072) 233-3530
FAX.(072) 221-6752
E-mail: komori1@muc.biglobe.ne.jp



発行所
淡交会 和歌山支部
和歌山青年部
和歌山市納定45-2 カーサオーヴェル303
事務局 東谷 歩方

令和5年度 テーマ 一期一会

「一期一会」
部長 森下 泰寛



今期、和歌山青年部の部長を務めさせていただいている森下泰寛と申します。平素は和歌山青年部の活動にご理解賜り、誠にありがとうございます。

「一期一会」とさせていただきます。また、来年度のテーマは「二期一会」とさせていただきます。コロナ禍のなかで、来年度のテーマは「二期一会」とさせていただきます。コロナ禍のなかで、来年度のテーマは「二期一会」とさせていただきます。

最後になりますが皆様の健康とご多幸を祈念し、引き続き和歌山青年部へのご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

奈良バスツアー With 奈良青年部

梅雨の晴れ間の6月19日、コロナ禍になって久しぶりに開催できた奈良バスツアーに参加しました。

400年続く奈良の老舗御菓子司の自家茶室にて、谷村丹後先生による茶筌の糸かけ体験をしました。初めての作業でしたが夢中になり楽しかったです。その後、奈良青年部さんからお茶の進呈をいただき、心が和みました。



そこから、ならまちに移動し、平宗にて柿の葉寿司を堪能して、奈良青年部さんにならまちの案内をして貰いながら、青年部の活動やその他色んなお話ができてとても楽しかったです。

鈴木 裕美



卒業生からの メッセージ

残り期間あと3年という短さでしたが、思い切った青年部に入会させていただききました。

初めて会員として参加させていただいた初茶会が終わり、次は観梅茶会というときに、新型コロナウイルスが蔓延し、参加できる機会が少なくなりました。

お菓子を持って全員集合、と題したお勧めのお菓子を紹介するZoomを使ったイベントは、和気あいあいでも楽しかったです。

東 美恵子



青年部で過ごさせていたいただいた日々は、かけがえない貴重な時間です。

みんなでワイワイバス旅行では、美術館鑑賞や蒔絵体験陶芸体験などとして帰りにはおきまりのバスの中のゲーム大会。

何度も話し合い試行錯誤しながら作りあげたお茶会等は忘れられません。

2、3年コロナ禍で行事が中止になったりしましたが、オンラインで新たな道も開けました。

今年開催されたナショナルコンファレンス2022京都に参加させていただき、久しぶりに皆に会い集まれた喜びも感じました。

どれも青年部だからできた貴重な経験ばかりです。そして何より多くの方々と出会いご縁をいただいたことが私の財産です。

田端 かよ



ご卒業おめでとう ございます。

東 美恵子さん
田端 かよさん

これまで青年部の活動にご尽力いただき、本当にありがとうございました。

和歌山青年部のフェイスブックもぜひご覧ください



南紀

発行所
淡交会 南紀支部
南紀青年部
東牟婁郡古座川町直見 348-1
谷口 尚子 方

ご挨拶

部長 谷口 尚子



平素より私達南紀青年部の諸活動にご理解賜り、誠にありがとうございます。令和四年度部長を務めさせていだいております。谷口尚子でございます。今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定しておりました行事が中止、延期、規模縮小になるなど、十分な活動ができませんでした。このような状況の中でも、久しぶりに講演会を開催することになり、茶筌師の谷村丹後先生に南紀へお越しいただきました。南紀青年部は会員が少ないため、南紀支部の先生方にご協力いただいて講演会

に来てくださった支部会員、学校茶道の高校生の皆様にも薄茶一服を差し上げる事もできました。

みんなが一つに繋がる機会、南紀で茶筌作りを直接拝見できる貴重な機会に恵まれましたことに、心から感謝しております。

そしてこの度、南紀青年部は会員数の減少から、活動を一時休止することとなりました。これまで諸先輩方が長きにわたり活動してこられた歩みを止めることは、大変心苦しく、悲しい気持ちでいっぱいですが、地方の少子化、過疎化の波に抗うことができません。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



谷村丹後先生

特別講演会

「一本の茶筌ができるまで」

七月二十三日(土)
於…太地町公民館

定期巡回講師である茶筌師 谷村丹後先生を南紀に

お招きし、茶筌作りの実演も交えながら、一本の竹から茶筌ができるまでのお話を伺いました。

当日は南紀支部の先生のご協力をいただき、呈茶も行いました。

青年部会員のみならず南紀支部の会員や学校茶道の高校生にもご参加いただき、久しぶりに笑顔の花が咲く時間となりました。

続いて、参加者の声をお届けします。



茶筌師の谷村丹後先生をお招きして、コロナ禍で久しぶりの事業を支部の会員

さんにも大勢参加いただき開催しました。

竹の種類から作業工程の説明と実践を見ることができ、ユーモアが合っていて気さくなお話を聞かせていただきました。色糸を使った新しいデザインのものがあり、どんな時に使おうかとワクワクしました。

普段から茶筌の姿はとても美しいと感じています。しなやかで曲線が優美で、かつ機能的。消耗品であることがもったいないと思っております。支部では毎年茶筌供養を行っています。お話を聞いて改めて、感謝をこめてお弔いしたいと思えました。

上 景子

谷村丹後先生の正確で丁寧な茶筌作りをじっくり拝見させていただきました。

お茶を始めた頃、茶筌を見てどのように作られているのだろうと思ったことを思い出しました。結局、作り方を知らないまま、当然の形として受け入れていたけれど、当時の新鮮な気持ち湧いてきたように感じました。

一つ一つの工程が美しく、見ていると私自身も整っていきような、感性が豊かになっていくような、そんな

時間でした。

講演後、大盛況だった先生の作品の売り子をしたことも楽しかったです。

尾谷 京子

お茶を点てるのに欠かせないお茶筌ですが、身近なお道具であるにも関わらずその作業工程や歴史的背景を私は詳しく存じませんでした。

丹後先生は、一本のお茶筌が出来上がるまでの作業工程や歴史的背景を時折ユーモアを交えながらとても分かりやすく楽しくお話し下さいました。また後半は、

丹後先生自らお茶筌造りのいくつかの工程を抜粋しての実演をして頂きました。

明治末期までは口伝で継承される為、書物などが残っている事はとても珍しいとおっしゃっていたお茶筌造りの工程を実際に目の前で拝見させて頂けることに感激しました。

茶道と共に受け継がれ伝承されてきたお茶筌の歴史と重みを感じるとても興味深く有難い講演会でした。

足立 祥子

和歌山と奈良は隣接県でありながら、谷村丹後先生のお住まいから南紀までの移動時間は約四時間半。そ

んなご遠方から数々のお道具や資料を抱え、谷村先生はお越しく下さいました。コロナ禍でお茶の活動に苦慮する中、ようやく開催の叶った青年部行事。それは親支部も学校茶道も同じこと、様々な思いを抱えながら何とか無事に開催当日を迎えました。

スライドとユーモアを交え、思わず時間を忘れてしまってお話になり、その後は会場で拝見していたら、あっという間に二時間が経ち、終了の時間に。

講演の中で一番印象に残ったのは、黙々と一本一本の茶筌の外穂を、いつ終わるともなく整えてらっしゃるお姿でした。そこに無限の美と先生の矜持が込められているように感じました。今後は一層、丁寧に扱いたい、扱わねばと心新たにしたい講演会でした。

高木 泉

卒業おめでとう
ございます

上 景子さん

これまで青年部の活動にご尽力いただき、誠にありがとうございました

地球と人の未来のために
持続的な世界の発展のために



ダイサン株式会社

総合人材サービス
アウトソーシング・人材派遣・流通加工

大阪府北区天神橋8丁目13-23 06-6353-3233 <https://daisan-i.com/>

(大阪東青年部)

Rakuten 楽天証券 SBI証券
東海東京証券

独立系ファイナンシャルアドバイザー
中本 慎一郎

投資家サポート株式会社 Tel: 06-6809-7094
〒530-0047 大阪府北区西天満2-6-8 Fax: 06-6360-7779
堂島ビルディング3階 携帯: 090-5041-6176
(大阪東青年部) 近畿財務局長(金仲)第365号 s-nakamoto@toushika.co.jp

choshu
ちゅうしゅう



ちゅうしゅう
http://yugafu-llc.com

(大阪東青年部)

建築、建材資材の生産加工から現場納品まで関わる全ての業務を一括対応



株式会社 中川工業所
Nakagawa Industry & Logistics Co., LTD.

〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町23-2
E-Mail: info@nakagawa-kgs.co.jp

(大阪西青年部) <http://www.nakagawa-kgs.co.jp>

私たちは「和と誠実」の精神で社会に貢献します



中谷機工株式会社
代表取締役社長 中谷 憲正

「人間力」で社会とともに
HARMONY & SINCERITY / SINCE 1902

〒661-0001 兵庫県尼崎市塚口本町6-8-18
TEL: 06-6421-3010 fax: 06-4961-5606

(大阪西青年部) <http://www.nakatani-grp.com/kiko/>

お客様の「困った!」を
システムからホームページまで
IT分野を通じて解決・支援します。



YODOQ
We keep chasing our dream

(大阪西青年部) <https://www.yodoq.com/>

創業50年! → 2024



株式会社 森 西

〒533-0003 大阪市東淀川区南江口1丁目4番17号
TEL: 06-6329-2024 WEB: <https://morinishi.jp>

(大阪南青年部)

一般貨物運送事業・貨物利用運送事業



丸正運送株式会社

〒552-0002 大阪府大阪市港区市岡元町3丁目3番13号
TEL: 06-6584-1207

(大阪南青年部)

海苔は、日本の伝統美です。



株式会社 河 幸

本社 〒556-0003 大阪市浪速区恵比寿西3-3-32
<http://www.kawako.co.jp>

(大阪北青年部)

出版・企画・編集



どりむ社

代表取締役社長 税所 貴一
住所: 大阪府北区天神西町8-17 テンマセントラルビル
電話: 06-6313-8001 (代表) FAX: 06-6313-8005
URL: <http://www.dorimu-web.com>

(大阪北青年部)

堺出島町



深清 龍

電話 堺 (241) 4593 番

(堺青年部)

夢と感動を
立志館ゼミナール

立志館ゼミナールは 南大阪を中心に展開する小学生から高校生までを対象とした総合学習塾です。
「わかるまで教える」という教育方針のもと 子供たちの夢と一緒に追いかけて 生徒一人ひとりの可能性をひろげています。

高校受験 小2~中3対象
小中学部 泉北校 TEL: 072-292-6363

中学受験 小3~小6対象
中学入試部 三国丘本校 TEL: 072-259-8877

大学受験 高1~高3対象
高校部 三国丘本校 TEL: 072-240-8855

SPEC 小4~高3対象
個別指導部 泉ヶ丘駅前校 TEL: 072-296-0100

THINK FUTURE 小4~高3対象
英語学院 三国丘校 TEL: 072-240-7676

(堺青年部)

株式会社 スズキモーター和歌山

アリーナ狐島 〒640-8412 和歌山市狐島379
アリーナ岩出バイパス 〒649-6221 岩出市溝川272-1
広川店 〒643-0066 有田郡広川町名島100
アリーナ東山 〒646-0022 田辺市東山2丁目31-20
<http://www.suzuki.co.jp/dealer/suzukimw/>




(和歌山青年部)

森下産業株式会社

取扱品目: 食品原料、食品添加物
分析用機器、食品加工機械等

〒640-8117 和歌山市南細工町1番地
TEL: 073-422-1138 FAX: 073-425-0890

(和歌山青年部)

2023-2024 年度近畿第二ブロック役員名簿

Table with columns: 役職名, 氏名, 支部. Lists various roles like 顧問, 相談役, ブロック長, etc., and their corresponding regional branches.

近畿第二ブロック 各種情報発信中!

近畿第二ブロックでは、年一回発行の機関紙「同風」の他にも、ホームページやFace bookにおいても、ブロックの各種活動や、各青年部より寄せられた活動内容を、随時紹介しております。また、LT出向者が研修で学び、感じたことを報告する記事も掲載しております。

近畿第二ブロック ホームページ www.tkk-kinki2.org Face book ページ www.facebook.com/kinki2seinen

同風 機関紙命名 鵬雲斎大宗匠 題字 揮毫 納屋宗淡宗匠 発行所 茶道裏千家淡交会青年部 近畿第二ブロック 発行人 ブロック長 山本修史



利休居士道歌 II その道に 入らんとする心こそ 我身ながらの師匠なりけれ

令和四年度 ブロック協議会 第1回連絡会会議 令和四年二月十一日(金) 祝、オンライン形式にて、茶道裏千家淡交会青年部近畿第二ブロック令和四年度ブロック協議会と第1回連絡会会議を開催いたしました。

少しの休憩の後、協議会が行われました。はじめに、ご来賓の挨拶を、池田周弘様からいただき、引き続き、令和三年度の事業報告・決算報告と令和四年度の事業計画・予算案の審議を行いました。

また、昨年、第33期リーダーシップ・トレーナー(L・T)出向員の堺青年部の檜原有衣さんが研修を修められ2年間の研修報告と、第33期L・Tで作成された活動を記録した動画を参加者で鑑賞しました。

淡交テキスト 2023年 予告 茶趣としつらい十二月【全12巻】 今日庵業躰 泉本宗玄/著 淡交社編集局/編

坐忘齋御家元御好 極上御濃茶 松花の昔 清浄の白 慶知の昔 松雲の昔 喜雲 極上御濃茶 瑞泉の白 珠の白 松柏